

2学年通信

新宮町立新宮東中学校
令和7年12月19日 第77号
文責:江頭 俊輔

[チャイム力の磨き方①!]

前回はチャイム力についてお伝えしました。簡単に言うと、チャイム力とは、「受験生である」と自分を認識し、勉強を始めるための力です。単に「やる気」とは少し違い、**長期的な視点で、目の前のものに取り組むために、自分自身を鼓舞する（勇気づける）力**のようなものです。今回は、その「チャイム力」の磨き方について考えていきたいと思っています。(ただし、「チャイム力」は短期的に磨かれるものではなく、高校受験→大学受験・資格試験→就職活動などを通して、**長期的に少しずつ磨かれるもの**ですので、そのつもりで確認していきましょう。)

今回は Benesse 教育総合研究所のサイトから 2022 年 9 月 1 日に公開された「【受験生の保護者必見】受験生が本気になったきっかけ 5 選」という記事から、大学進学を果たした「進研ゼミ」を受講していた大学生が「本気で受験勉強に取り組み始めたきっかけ 5 選」を紹介します。

①模試の結果を見て

模試を受けるとその時点での実力がわかるので、結果がわかるたびに「やらなきゃ！」と気合いが入りました。(東京外国語大 言語文化学部 C・S さん)

②部活動引退

部活を引退したら時間ができたので、放課後に学校に残って、がっつり受験勉強に取り組み始めました！(京都大 農学部 N・T さん)

③学校行事が終わった

学校祭を全力でやりきって、周囲も本気で勉強し始めたことに気付いたので、「そろそろ本気にならなきゃな」と気持ちを切り替えることができました。(三重大 生物資源学部 W・W さん)

④周りが受験モードに

夏休み明けに、クラスメイトが受験勉強の成果について話すのを聞いて、「出遅れた！」と焦りが……。遅れた分を取り戻そうと、毎日やや多めの量をこなすようになりました。(東北大 工学部 M・N さん)

⑤憧れの学校を自分の目で見て

志望大に直接足を運んで雰囲気を感じたことで「ここに行きたい！」という強い気持ちが生まれて、受験勉強にスイッチが入った。(上智大 外国語学部 H・I さん)

分類してみるとこんな感じだと思います。

自分から感じたもの	節目で切り替えたもの
①模試の結果を見て	②部活動引退
④周りが受験モードに	③学校行事が終わった
⑤憧れの学校を自分の目で見て	

「自分から」感じたという項目に分類している3つは、「そろそろ受験勉強しなきゃ」というドキドキ、ハラハラの感情が土台になっているはずです。**そういう「そろそろ、、、」という気持ちが「チャイム力」の初步的な部分だと思います。**「やりたくない」と考えているのは、みんな同じです。ただ、「それでいいのか？」と問い合わせていきましょう！スイッチは自分で入れるものです！

ただし、自分以外の部分からの刺激はたくさんあります。大きな視点で考えると今回見た5つの事例は全て「自分以外からの刺激」とまとめることもできます。あとは、**「刺激」を「刺激」と捉えることができるかどうか**、です。これこそ「チャイム力」ですね。心の準備を進めていきましょう。